

【様式1】 平成28年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	郡上市	学校名	郡上市立相生小学校			
校長名	山田 暁男	対象学年	5～6	人数	43	人
活動名	「総合」 郡上(相生)の自慢と絆		時間数	約35+10時間	継続年数	5年
題材	1 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [] 2 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [] 3 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [] 4 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [公民館等との連携活動] ⑥ その他（ ） [福祉体験活動]					
複数年継続するための工夫改善	5年生総合的な学習の時間「郡上(相生)の福祉」の学習内容と、既存の公民館活動や地域行事への参加、幼保小連携活動等（5～6年時における）の意味や価値をつないで、児童の意識の連続と主体性の育成を目指すものに工夫改善しているところである。					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土への愛着を持ち、地域の人と進んでかかわっていこうとする実践的な態度を養う。 ・児童一人一人が「自分で・自分たちで」願いを持って主体的に取り組む力を育てる。 <p>※3年生は相生の昔の暮らし、4年生は相生を流れる川について学習し、総合的な学習（郡上学）の全体を通して、地域への誇りと愛情が持てる子を育てることをねらいとしている。</p> <p>2 活動の概要</p> <p>(1) 5年総合「郡上(相生)の福祉」のねらいと学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な立場の人の生き方に触れ、全ての人が支えあって生きていくことの必要を感じることができる。 ○福祉施設との交流や様々な体験活動（高齢者体験、手話・点字体験、視覚障がい者との交流、保育体験等）を通して、自分たちにできることを考えている。 <p>(2) 意識をつなぎたい学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育課程内の活動…道徳、特別活動、幼保小交流活動 等 ②校外での活動…公民館活動、子ども会活動、地域行事への参加 等 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <p>(1) 幼保小の交流活動【運動会新入児童種目の練習と当日の引率】（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこに参加する年長児とのピアサポートの場として、どのようにかかわるか、どんな言葉をかけるかをあらかじめ学習（P）実践（D）振り返り（C）、次の保育体験（A）に生かす。→保育体験のPDCAは、入学後のかかわりに生かす。 <p>(2) 公民館、子ども会、自治会等との連携活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相生公民館では、中学生理事に続く小学生サポーターとして6名が活動している。 ・小学生サポーターを中心に、多くの児童が公民館行事に参加している。 ・地域福祉に支えられてきた感謝の気持ちから、公民館清掃を実施した。（5・6年） ・高齢者の多い校区にあり、敬老会に児童が参加し作文や合唱を発表した。 ・夏休みラジオ体操の会場への奉仕活動を行い、さらにお礼の写真集を頂いた。 <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分が役に立って相手に喜ばれる経験は、自己有用感を高めるものとなっている。 ○地域に守られてきた自分から、支えたり守ったりする立場への自覚が生まれる。 <p>☆さらに主体的な貢献活動となるよう、児童の意識のスパイラル構想を確立させたい。</p>						